
魔法の鏡

デジャブ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法の鏡

【Nコード】

N35800

【作者名】

デジャブ

【あらすじ】

アンティークショップで買った鏡は・・・

その鏡を買ったのは偶然だった。

隣の県の大学に行っている娘から、部屋の姿見が壊れたと連絡があり、今度の休みにもって行ってあげようと探していた。主人から壁掛けタイプのほうがいいんじゃないかといわれ、何気なくのぞいたアンティークショップにその鏡はあった。

上半身が映るぐらいの大きさで丸い鏡の周りにクラシックな彫刻が施されたしゃれた鏡だった。

素敵だとは思ったが値札を見て、ちいさなため息をついた。5万円と書かれていた。そんな高価な鏡、娘の部屋には合わない。店を出ようと思った時、入ってきた業者らしき人が持っていた大きな木の椅子の脚がその鏡の角に当たってしまった。「パシツツ」と小さな音がして鏡の左端に小さなヒビが入ってしまった。「あーあ」業者の若い男の人が店主に恐縮がっておわびしている。「すみません・弁償しますんで」「えっ・・・5万円・・」二人のやり取りが聞こえてきた。反省はしているものの、値段にしり込みしている様子だったので思わず声をかけてしまった。「私、ほんとともうちよつと安かったら買いたかったんだけど・・弁償額もう少し安くできませんか」店主が私をみてこう言った。「じゃあ、あなたに買ってもらおうかな。1万でいいよ」業者の若者が「すみません。今5千円しか持ってなくて・・・」

なんだかよくわからないうちに5千円でそのアンティーク鏡を買ってしまった。

部屋に運ぶと、やっぱり娘の部屋には高価すぎる代物のようだった。壁に掛けるとしっくりと収まった。

夜、帰宅した主人もその鏡を見て「なんだ、自分用に買ってきたのか?」とあきれ顔をしていたがさしたる興味はなさそうだった。

次の日、薄化粧をし、パートに出かける前にその鏡の前に立った。しみじみと顔を見てみる。目尻に小さなシワがある。目の下にうっすらとクマも発見。ほっぺはハリのないブヨンとしたたるみ。

ああ・・若い頃にもどりたいなあ・・なんで老けていくんだらう。今日はパート行きたくないなあ。どっかのエステにでも行きたい・・。

鏡の中の自分を見ながらそんなことを思っていたら突然携帯メールが届いた。パート先の上司からだった。「今日の出勤は、なしで。明日少し長めをお願いします」 「今日のパート休みになっちゃたよ」

思わず独り言が出てしまった。その時、郵便ポストに郵便物が届いた。近所のエステサロンの無料体験券だった。「うそぉー」

おそろおそろ、また鏡の前に立ってみた。半信半疑でもう一つ願い事をしてみる。しばらく会ってない友達と話したいな・・・1分後電話のベルが鳴った。「あっ、久しぶり・・急に声が聞きたくなっ」何年か会ってない友達からだった。もう間違いない。この鏡は願いをかなえてくれる。

もう一度鏡を見た私はその代償を知った。老けている。シワが深くなったし、クマも目立つ。

あわてて化粧で直そうと洗面所に行くと、朝の顔のままだった。要するにその鏡だけ実際より老けて映るのだ。願いを叶えた代償として。今日はささやかな願いだったからこんなですんでるけどエステカレートしていったら私、どんな風に老けて映るんだらう。それは、私の真実の顔。物欲、強欲の塊の醜い顔。

お化けみたいになるのかな。主人には内緒にしておこう。私の魔法の鏡。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3580o/>

魔法の鏡

2010年10月17日05時05分発行